

組織目標評価報告書（令和4年度）

部局名：

評価センター

部局長名：

伊藤 武彦

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
⑤センター・機構等業務		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況
<p>1. センターの体制整備 第4期における運営体制を見直し、専門性と機能性を高める。</p> <p>2. 自己点検・評価に関する対応 新たな内部質保証体制の下、自己点検・評価の実施及び検証に係る支援を行う。</p> <p>3. 法人評価に関する対応 国立大学法人評価(中期目標期間終了時)に向けて、中期目標の達成状況等に関する自己点検・評価を行い、第3期中期目標期間評価に係る報告書を作成する。また、第4期中期目標期間における計画の進捗状況等に係る自己点検・評価について、実施方法を検討し、実施する。</p>		<p>1. 第4期における運営体制として、評価センターの「専門部会」と「作業部会」を設置した。前者は学外委員2名を含む組織で、専門的見地から主に評価センターの業務の企画に関わるようにした。後者は学内の部局から推薦された委員で構成し、毎年度の評価の実務を中心に活動できるように組織した。専門部会委員により作業部会委員を対象に学内研修を実施した。これらにより、専門性と機動性を担保した。</p> <p>2. 自己点検・評価の仕組みを見直し、評価センターの果たすべき役割の再定義と実施体制の構築をおこなった。また令和3年度の自己点検・評価書の取りまとめを行った上で、学内HPに公表した。</p> <p>3. 第3期中期目標期間評価に係る業務実績報告書及び達成状況報告書を作成した。第4期中期目標期間における計画の進捗状況等に係る自己点検・評価については、モニタリングとレビューの仕組みを構築し、モニタリングを実施した。またレビューは部局等からの報告を取りまとめ、次年度初めに実施する作業部会での検討の準備をした。</p>

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。